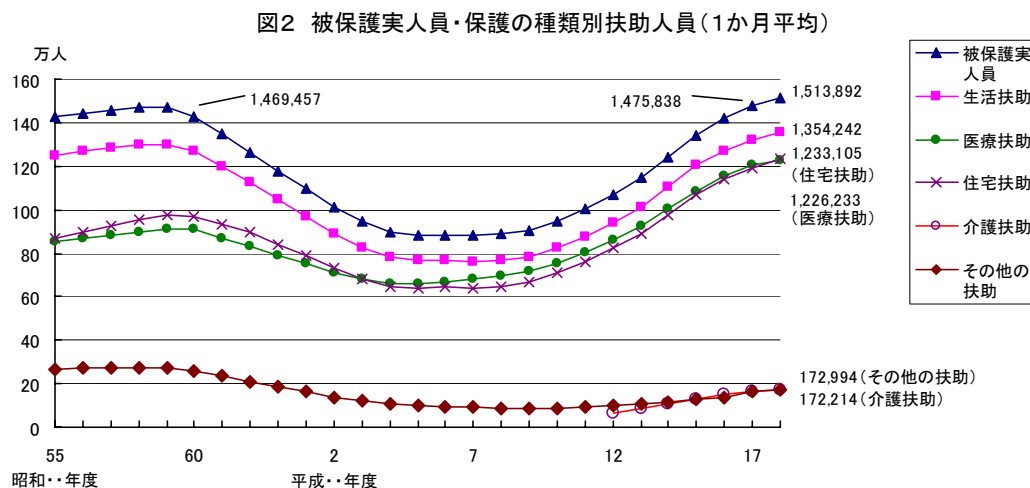


(2) 被保護実人員及び保護率

平成18年度の1か月平均の「被保護実人員」は1,513,892人で、前年度と比べ38,054人（前年度比2.6%）増加している。

保護の種類別に扶助人員をみると、「生活扶助」が1,354,242人と最も多く、次いで「住宅扶助」1,233,105人となっている。

また、保護率（人口千対）は11.8（%）となっている。（図2、表2）



注：「その他の扶助」は、「教育扶助」・「出産扶助」・「生業扶助」・「葬祭扶助」の合計である。

表2 被保護実人員・保護の種類別扶助人員及び保護率の年次推移（1か月平均）

	平成14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対前年度	
						増減数	増減率(%)
被保護実人員	1 242 723	1 344 327	1 423 388	1 475 838	1 513 892	38 054	2.6
保護率（人口千対）(%)	9.8	10.5	11.1	11.6	11.8		
生活扶助	1 105 499	1 201 836	1 273 502	1 320 413	1 354 242	33 829	2.6
医療扶助	1 002 886	1 082 648	1 154 521	1 207 814	1 226 233	18 419	1.5
住宅扶助	975 486	1 069 135	1 143 310	1 194 020	1 233 105	39 085	3.3
介護扶助 (再掲)	105 964	127 164	147 239	164 093	172 214	8 121	4.9
施設介護	22 679	26 640	29 213	31 875	34 437	2 562	8.0
介護老人福祉施設	8 043	10 216	12 158	13 981	15 498	1 517	10.9
介護老人保健施設	8 010	9 226	9 967	10 936	12 462	1 526	14.0
介護療養型医療施設	6 627	7 198	7 088	6 958	6 477	△ 481	△ 6.9
居宅介護	83 285	100 524	118 027	132 218	127 964	△ 4 254	△ 3.2
その他の扶助	116 848	127 121	135 272	167 264	172 994	5 730	3.4

注：「その他の扶助」は、「教育扶助」・「出産扶助」・「生業扶助」・「葬祭扶助」の合計である。